

小井土文哉

ピアノ・リサイタル

Program

ドビュッシー
2つのアラベスク
ドビュッシー
ベルガマスク組曲
スクリャーピン
2つの詩曲 op.32
スクリャーピン
ピアノ・ソナタ 第2番「幻想ソナタ」
嬰ト短調 op.19
シューマン
ピアノ・ソナタ 第1番 嬰ヘ短調 op.11

2024 11.30 (土)

14:00開演(13:30開場)

ザコンサートホール 名古屋・伏見・電気文化会館

全席指定 ¥3,000(税込) (劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業)
申込方法等詳細はクラシック名古屋ホームページにてご確認ください。

Fumiya Koido Piano Recital

©井村重人

戸澤采紀

ヴァイオリン・リサイタル

江崎萌子(ピアノ)

Program

フォーレ
ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ長調 op.13
チャイコフスキー
懐かしい土地の思い出 op.42
シューマン
ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ニ短調 op.121

2024 12.2 (月)

19:00開演(18:30開場)

ザコンサートホール 名古屋・伏見・電気文化会館

全席指定 ¥3,000(税込)

Saki Tozawa Violin Recital

©JUNICHIRO MATSUO

【主催・お問合せ】 ♪クラシック名古屋 052-678-5310

プレイガイド チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ローソンチケット <https://l-tike.com> イープラス <https://eplus.jp>
名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755 藝文プレイガイド 052-972-0430

※未就学児の入場はご遠慮ください。※やむを得ぬ事情により公演内容が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。※車椅子でご来場されるお客様はご購入前に必ずクラシック名古屋までお問合せください。

発売日 2024 7/13(土) 10:00~

2公演セット券
¥5,500(税込)



©井村重人

小井土 文哉 (ピアノ)

Fumiya Koido, Piano

第87回日本音楽コンクール、第15回ヘイスティングス国際ピアノ協奏曲コンクール(イギリス)をはじめ、国内外の多数のコンクールで優勝を果たす。2022年5月には英ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団のソリストとして英国ツアーを行い好評を博した。これまでに、国内では読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、日本センチュリー交響楽団、京都市交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団等と共演。指揮者では飯守泰次郎、高関健、山下一史、広上淳一、原田慶太楼、オーラ・ルードナー各氏と共演。2022～2023年シーズンは堤剛、前橋汀子、辻彩奈、ユーハン・ダーレネ各氏と共演。リサイタル、協奏曲、室内楽と多彩な活動を続けている。英BBCラジオ3、NHK-FM「リサイタル・パッショ」等国内外のメディアに出演。シャネル・ビッグマリオン・デイズ2019 アーティスト。岩手県釜石市出身。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。桐朋学園ソリストディプロマコースを経て、イタリア・イモラ音楽院を修了。現在同音楽院ポスト・ディプロマコースに在学中。ボリス・ベトルシャンスキー、須田真美子の両氏に師事。

Saki Tozawa Violin Recital



©JUNICHIRO MATSUO

戸澤 采紀 (ヴァイオリン)

Saki Tozawa, Violin

東京都出身。15歳で第85回日本音楽コンクール最年少優勝、以後ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクール第2位(最高位)、ポセール財団コンクール優勝、ペーター・ローネフェルト賞コンクール優勝、インディアナポリス国際ヴァイオリンコンクールセミファイナリストなど、数々の国際コンクールで優勝・入賞を重ね、注目を集めている。これまでに、ローザンヌ室内管弦楽団、リュベック・フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団など国内外のオーケストラと共演。浜離宮朝日ホール、トッパンホールにてリサイタルを開催し、好評を博す。2022年1月、デビュー盤「戸澤采紀 IN CONCERT」をリリース、レコード芸術誌にて特選盤を受賞。BSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」、NHK-FM「リサイタルノヴァ」への出演など、メディアでの注目度も高い。両親の指導のもと4歳よりヴァイオリンを始め、東京藝術大学を経て渡独、リュベック音楽大学に在学。ヴァイオリンを玉井菜採、ジェラルド・ブーレ、保井頌子、ドンスク・カン、堀正文、ダニエル・ゼベックの各氏に、室内楽を原田幸一郎氏に師事。マスタークラスにて、レオニダス・カヴァコス、ヴァディム・レーピン、アナ・チュマチェンコら各氏の薫陶を受ける。クフモ室内音楽祭オレグ・カガンメモリアルファンダスカラシップ受賞。江副記念リクルート財団第48回奨学生。2019年度東京藝術大学宗次徳二特待奨学生。2021年度青山音楽財団奨学生。2023年度RMF奨学生。2023年度第33回青山音楽新人賞受賞。2023年度第33回出光音楽賞受賞。使用楽器は、文京楽器協力のもとBeare's International Violin Societyより貸与されているMatteo Goffriller。

江崎 萌子 (ピアノ)

Moeko Ezaki, Piano

ライブツィヒ・ゲヴァントハウス大ホール、パリ・フィルハーモニーブレーズホールにてソリストを務めたのはじめ、日本、ドイツ、フランスを中心に演奏活動を行う。これまでに東京交響楽団、中部ドイツ放送交響楽団、Orchestre symphonique et lyrique de Nancy 等と共演。シャネル・ビッグマリオン・デイズアーティストとして東京・ネクサスホールにて全六回のソロリサイタルを行う。第8回ヴェローナ国際コンクール(イタリア)第2位およびクラシックソナタ賞、女性演奏家賞受賞。その他、第26回エピナル国際コンクール(フランス)入賞およびオーケストラ賞、現代曲賞、第80回日本音楽コンクールピアノ部門入選、第4回東京ピアノコンクール第2位など国内外で入賞を重ねる。室内楽にも数多く取り組み、ベルリンフィルハーモニー室内楽ホール、ゲヴァントハウスメンデルスゾーンザールにて演奏するほか、Festival de musique St Amand de Vergt、ラヴェル音楽祭、Music Dialogueディスカバリーシリーズ、シャネル室内楽シリーズ等に出演。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール第2位受賞。桐朋女子高等学校音楽科首席卒業後、パリスコラ・カントルム音楽院にてテオドール・パラスキヴェスコ、パリ国立高等音楽院にてフランク・ブラレイ、上田晴子の各氏に師事し修士課程を卒業。ライブツィヒ・メンデルスゾーン音楽大学演奏家課程にてゲラルド・ファウト氏のもと研鑽を積み、2022年最高点で国家演奏家資格を取得、2023年より同大学にて教鞭を取る。またメナヘム・プレスラー、マリア・ジョアン・ピレシ各氏の薫陶を受ける。2019年度ヤマハ音楽振興会音楽奨学支援奨学生。

オフィシャルホームページ moekoezaki.com



©Taira Tairadate